

# 一般質問

## 質問者及び質問事項（質問順）

### 1 榑林憲樹 議員 (P8)

- ①国保税について
- ②福祉バスの運行について
- ③地震災害への備えと原発との関連について
- ④牧之原市のイメージアップ宣伝事業について

### 2 鷺坂隆夫 議員 (P8)

- ①（仮）福祉バスの運行について
- ②公共の場所での禁煙をどのように考えているか
- ③生活関連事業（各地区からの要望）の取り組みについて

### 3 糸田幸一 議員 (P9)

- ①乳幼児医療費無料化制度の拡充について
- ②合併公約の履行について
- ③「核兵器廃絶牧之原市平和都市宣言」の制定について

### 4 川島啓司 議員 (P9)

- ①職員の意識改革と待遇について

### 5 名波富幸 議員 (P10)

- ①牧之原市発展の為に勇気ある改革を
- ②幼保一元化をめざして

### 6 田村兼夫 議員 (P10)

- ①福祉政策について
- ②情報伝達の充実について
- ③英語教育の早期導入について

### 7 鈴木勇次 議員 (P11)

- ①新年度予算の編成作業の開始に当たって、柱とする施策の方向について
- ②空港問題について
- ③茶業振興について
- ④環境問題について
- ⑤教育問題と人づくりについて
- ⑥榛原総合病院の現状と、経営改善に対する今後の考え方について

### 8 松浦 毅 議員 (P11)

- ①牧之原市の将来ビジョンについて

### 9 豊里友也 議員 (P12)

- ①市民との情報交換について
- ②牧之原茶のブランド確立の手段は

### 10 加藤祥司 議員 (P12)

- ①平成18年度当初予算について
- ②農業（茶業）振興方策について
- ③環境保全について

### 11 鈴木正樹 議員 (P13)

- ①地域に密着した、つくしホーム・つくしの家の今後の方向性はどのように考えているか
- ②県議会議員選挙区について

### 12 中野康子 議員 (P13)

- ①市長の市政運営の取り組み姿勢について
- ②平成18年度当初予算の編成方針について
- ③健康に暮らせるまちづくりについて
- ④静岡空港を利用したまちづくり、地域振興について

### 13 小杉康男 議員 (P14)

- ①浜岡原子力発電所と、周辺地域の対応について

### 14 大石和央 議員 (P14)

- ①原子力行政について
- ②ゴミ処理行政について

#### 編集部から

各質問議員の質問内容と答弁要旨は、抜粋して次ページから掲載しました。

## 樽林憲樹 議員

**繰越金・基金は国保税の軽減へ**

**問** 繰越金と基金とで7億円余もお金があるのだから、国保税は引き下げるべきと思うがどうか。

**答** 本市の基金は、国の基準では8億が目安です。国保税は、流行病などで赤字になることもありうるので、その際に備えて取り崩しは好ましくないと考えています。

## 福祉バスの運行をぜひ

**問** お年寄りや、障害者のために、市内必要箇所を巡回する福祉バスの運行を切に望むが、

**答** 施政方針で述べたとおり、福祉バスの運行は市民待望のことなので、方法を色々と研究しながら検討していきます。

## 心配な原発地震災害

**問** 駿河湾を震源とする巨大地震の到来は、必至である。原

発震災も考慮しなくてはならない。市はどう対応するつもりか。

**答** 原発は国の基準の安全性をとっており、原発災害は起こりえない。県の防災対策に沿って対策をとります。ヨウ素剤の配備は、県健康福祉センター榛原分庁舎、市役所、トーク地頭方に常備されています。

## 新市のイメージアップ向上策を

**問** 榛原・相良を舞台とした記録文学「光さす故郷」という本がある。これを映画化して新市のイメージアップに役立てたらどうか。

**答** 市民の皆さんの気運と実行で進められたら素晴らしい案だと思います。



浜岡原子力発電所

## 鷺坂隆夫 議員

## 福祉バスの運行はどうなる

**問** 高齢者や障害者など、交通弱者の通院や買い物などに利用できる交通手段の導入は、市長が「公共交通の充実」通学通院や買い物など、次世代の住民生活の足として低コストで効率的に運行できるように交通システムを検討する。」と言っているが、具体的に伺いたい。

**答** 交通システムの経費は、病院や商店街、スーパードなど協力しての運行や、市所有バスを利用する方法等の各種の手段、方法が考えられるので、利用者、行政そして事業者で幅広い検討をして、効率的な手段の具体化に向けて努力します。

## 公共施設の禁煙はどうなる

**問** 「市民の健康づくりに受動喫煙の防止を徹底する。」と市長は言っている。同僚議員の半分が喫煙者だが、あえて市長に質問する。

受動喫煙とは、他人が吸った



《たばこ》の煙を吸わされる事を言う。たばこ税も約3億円あり重要な財源だが、市民の健康づくりを受動喫煙の防止の徹底をあげている市長の、禁煙に対する考えを伺いたい。

**答** たばこを吸われる方が納得するよう、話し合いの上で進めていきます。

## やり残し事業の取り組みは

**問** 合併前のやり残し事業を、どう取り組む考えか。

**答** 優先順位としては、1に安全（事故防止）・2に公共性（利用性）・3に公平性（地域バランス）を考慮し要望に応えるよう実施していきます。

## 桑田幸一 議員

### 乳幼児医療費無料化制度の拡充を

**問** 今日、少子化対策は、国及び地方自治体においても緊急の課題である。

最近発表した「少子化社会白書」でも、国や自治体に、「乳幼児医療費の自己負担の軽減や別手当の支給、保育園の増設など、社会全体で若い子育て世帯を支援することが必要であり、子育てしやすい町づくりに取り組むことを求めている。

牧之原市においても、吉田町や島田市のような積極的な対策を求める。

**①** 助成対象年齢を小学校卒業まで拡充する計画はないか。  
**②** 当面、所得制限や自己負担のない、就学前までの完全無料化制度の創設を求める。

**答** 厳しい財政状況下ですが、平成十八年度から所得制限を廃止するよう準備をしています。

また、自己負担のない完全無料化と、助成対象年齢の小学校

卒業までの拡充については、今後の財政状況と近隣市町の動向など見ながら、検討課題としていきます。

### 平和行政の推進方策は

**問** 「核兵器廃絶牧之原市平和都市宣言」の制定と、平和行政の推進を求める。

**答** 核に対する様々な考え方や主義主張を通して、議員の皆様をはじめ、市民皆様の盛り上がりによる総意で制定していくプロセスを、大切にしたいと考えます。



次世代育成支援行動計画書

## 川島啓司 議員

### 住民サービスの向上には職員の意識改革が

**問** 「合併により、サービスは高く、負担は低く」と言われる中で、合併後、旧両町の住民が不便をきたさないよう、また、不安を持たせないよう職員の住民に対する対応が大切である。

**答** そのためには、職員の意識改革が必要であると思うがどうか。  
合併直後から、両庁舎に総合案内窓口を設けました。

また、合併直後の事務に支障が生じないよう、合併前の段階で両町の職員の人事交流も行い、体制も整えてきました。

合併後には、職員が市民の視点に立って対応するという認識を持つよう、「市民のための市役所」というスローガンを職員に示しました。今後も、職員の意識改革は更に進めていきます。

**問** 今回の合併により、職員も事務のすりあわせ等で大変忙しいと聞く。合併前の旧両町



相良庁舎と榛原庁舎

の職員間での給料等の格差は解消され、職員の待遇について、均衡が保たれているのか。

**答** まずは合併後の事務の低下を招くことのないよう、職員の体制整備を行ったので、両町の職員間の給料格差や役職の不均衡を是正することまではできませんでした。

今後、職員の給料の在り方を見直し、勤務の状況を見極めたうえで、やる気をもてる職場となるよう必要な是正措置を講じていきます。

## 名波富幸 議員

### 牧之原市発展の為に 勇気ある改革を

**問** 国の三位一体の改革により交付金、補助金が減額され、牧之原市の市民税も微増にとどまる中、更なる行政改革が必要と思われる。民間委託の活用により行政のスリム化を図ることは重要だ。また、民間委託も専門職を置くべきか中身の検討をして、行政パートナー制度の導入を図るべきだ。

**答** 平成十七年度の委託料は約9億5千万円。委託内容方は今後検討していきます。  
行政パートナー制度導入の必要性は大きいので、行政改革大綱と集中改革プランの中で、検討していきます。

**問** 市民による行政評価制度と予算のゼロベースからの検証をどの様に導入してゆくのか。  
**答** 行政評価制度は、事務事業レベルで導入します。予算実績を白紙に戻し、必要性、優先順位を検討したうえで、予算

編成をします。職員給与手当も、併せて検証していきます。

### 幼児一元化推進と、幼稚園・ 保育園の整備計画は

**問** 幼児一元化により、就学前児童の保育と教育の充実を図るべきだ。  
また、老朽園舎、地震津波危険地域の園舎から整備を図り、施設の整備計画を立てて、施設整備を急いでいくべきではないか。

**答** 就学前の教育の充実をどの様に図るか、幼児職員、小学校関係者による協議会を設けて検討します。また、危険地域老朽園舎から計画的に整備していきます。



安心して保育できる施設に

## 田村兼夫 議員

### 障害者自立支援のための支 援策は

**問** 障害者自立支援法の制定に伴う、各種サービスの設置について問う。  
また自己負担増がサービスの利用低下を招く恐れがあるが対応を問う。

**答** 市には障害福祉計画の策定義務があるので、十八年度中に障害者プランと合わせて幅広く意見を聴取し、規制緩和も考慮しながら策定の予定です。  
また、所得により月額上限の設定、個別減免制度、社会福祉減免措置、実費負担補足給付などを設置するので、利用低下の恐れは少ないと考えています。

**問** 作業所の老朽化に伴い、今後の整備計画について問う。  
**答** 施設整備だけでなく、経営力強化をはかる支援をします。

**問** 障害者のための就労支援について

建て替えの要望が多い作業所



**答** 関係機関との連携強化、事業所の理解、地域の支援を得て進めていきます。

### 防災情報体制の確立を

**問** 防災ラジオは機種が変わるため、配布台数が少なくなるが、希望者には全員に配布すべきと思う。  
**答** 旧相良町では、各戸に同報無線の受信機が備えられており、旧榛原町の防災ラジオも、来年度予算に可能な限り計上したいと考えています。

## 鈴木勇次 議員

「マナーアップ条例」の制定実現をぜひ

**問** 町議会当時から、私が提案している仮称「マナーアップ条例」の制定は実現に至っていないが、そのお考えの有無は。

**答** 地球温暖化の防止、野生動物の保護等グローバルな環境問題から、歩行喫煙の制限やペットの糞の始末など、身近な問題にまで多岐にわたります。

環境問題についての、行政に対する課題は多く、どれを取っても住民や事業所などの積極的

取り組みが必要になってくるので、今後、環境審議会などに諮問しながら、条例の制定に向けて進めてまいります。

**問** 犯罪の防止は人づくりから

犯罪の発生状況と、犯罪者をつくらないための、効果的施策の推進は。

**答** 十月末現在の青少年問題の状況は、万引きなどの窃盗は減少したものの、深夜徘徊や飲酒が増加しています。

しかし、この増減は、検挙あるいは補導されなかっただけでも知れないので、一喜一憂はできません。

学校教育では、目標を「夢や希望を胸に抱き、高いところを目指しを持った、心豊かでたくましい牧之原の子どもの育成を目指す」教育を進めます。

社会教育では、各種家庭学級を通じて、親と子どもと共に学習し、今後市長を本部長とするまちづくり「フォーラムまきのはら」でも、犯罪者をつくらない人づくりを話し合います。

## 松浦 毅 議員

牧之原市将来ビジョンの策定スケジュールは

**問** 牧之原市総合計画基本構想の策定スケジュールと、市政の理念、目指すべき将来像は。

**答** 総合計画策定については、十八年度に開設する「協働推進市民フォーラム」などの協力を得て、十八年度から二カ年で策定したい。

理念と将来像は、みんなが知恵を出し合い、交流し、主体的にまちづくりに取り組む中で、だれもがしあわせを実感できる自立したまちづくりを目指します。

自立できる財政運営を

**問** 借入金依存から脱却し、後世に大きな負担をかけない、将来を見据えた財政計画をすべきたと思うが。

**答** 借入金に依存した財政運営から脱却していく必要があります。今後、市民と連携し、協力を

いただきながら、債務残高に留意した、長期的な展望に立った財政計画を策定していきます。

榛原総合病院運営の取り組みは

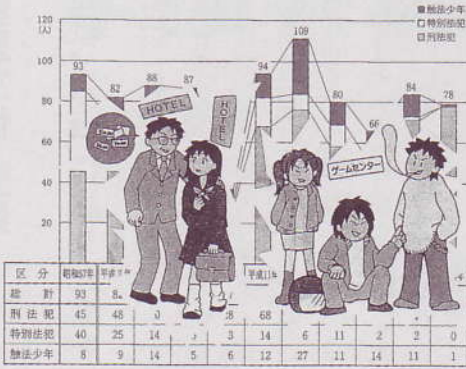
**問** 榛原総合病院の医師不足に至った状況と、将来に向けての病院運営は。

**答** 十六年度から実施された医師臨床研修制度により、医師が引き上げ、その後院長が交代しました。脳神経外科を中心に医師引き上げが続きましたが、現在は徐々に医師数も充実しつつあります。

運営に関しては、病院経営改善の目標と取り組み方針を掲げ、経営努力していきます。

### 2 管内の少年非行

(1)少年非行の推移(過去10年間の推移)



警察白書から構成



完成間近の榛原総合病院

## 豊里友也 議員

### 広報紙、全戸に届く配慮を

**問** 広報紙の配布方法ですが、住民の皆さんは税金を応分に納めているわけですから、新聞紙を三社購読している家庭には三部署く、購読していない家庭にはまったく届かない。これは明らかに不公平であると考えます。

また、今後市民の本当の生の声を聞き、市政に反映させるための機関が必要であると考えますが。

**答** 配布方法を新聞折り込み方式にしたのは、メリットとしては月二回発行による質と情報量の充実、発行日には各家庭に届くなど、情報提供の迅速化などがあります。

一方、新聞未購読者に届かないなどのデメリットがあります。が、コンビニや公共施設などへの配置、ホームページでの閲覧などにより対応していただいています。

次に、協働推進市民フォーラムについては、市民自らがまち

づくりを主体的に参画し、生きがいや自己実現につながるものが、まちの発展の活力になると考え、市民の力を活かす取組みとして、(仮称)「協働推進市民フォーラムまきのはら」を開設することにしました。

参加登録をさせていただいた市民、企業等で構成し、様々な市政運営上の課題をはじめ、市の今後の取組みについて、互いに情報交換や意見交換を行いながら、考えることができる交流の場となることを、目的の一つとしています。



広報紙は、市民と行政のかけ橋

## 加藤祥司 議員

### 新年度予算の編成方針は

**問** 合併後初の年間予算編成となる平成十八年度の予算編成にあたって、国全体では景気も回復基調と言われているが、旧町から引き継いだ起債は二百億円を超えている。新年度の税収見通し及び、予算編成方針について伺う。

**答** 新年度における税収の見通しは、近年の実績を下回る税収を予測せざるを得ない状況です。

まず、固定資産税、都市計画税は三年に一度の評価替えの年度を迎え、大幅な減収が見込まれます。また、市民税については、最近の景気動向や個人所得の回復基調にあわせて、国による定率減税の廃止等が反映して若干の増収も予測されますが、全体では大幅な減収となる見込みです。

予算編成の方針は、これまでの合併協議やその後の推移を踏まえ、旧町の融和を推進する観点から、市民の行政サービス

需要に答えるべく、新市建設計画に基づいて、財源の範囲内での予算編成となります。

約3千点のなかから採用が決まった市章(正式発表は3月19日)



### 環境基本計画の目的は

**問** 環境基本計画は、どのような目的で作るのか?

**答** 市の環境の保全及び創造に関する施策の基本となる事項を定め、施策の総合的かつ計画的な推進により、市民の安全かつ健康で文化的な生活を確保することを目的にします。

## 鈴木正樹 議員

つくしの家、つくしホームの今後の方向性は

**問**

障害者自立支援法が十一月に制定された。この大きなうねりの中で、地域に密着した心身障害児通園施設「つくしの家」、知的障害者通所施設「つくしホーム」の、今後の方向性はどのようにお考えか伺う。

**答**

つくしの家、つくしホームの両施設とも、旧相良町が町内の障害をもつ人達やご家族の要望を受けて、「障害者福祉をどのように支援していくか」を検討した結果設置した福祉施設です。

一羊会に運営を委託した経緯や、施設の運営・経営方法についても、長い年月の努力の中で築き上げてきた結果、現在があると認識しています。

両施設の今後の方向性については、地域の障害者のためには無くてはならない施設ですので、運営面あるいは経営面のいずれからも、自立していける施設を目指して、またボランティアな



つくしホーム

ど地域全体で支えていただきながら、市としても支援してきたいと考えます。

### どうなる県議会議員選挙区

**問**

県議選区割りの報道を受けて、市長は広域合併の考えの中で如何に受けとめたのか。

**答**

本来、議員定数を決めて枠組みを検討するのが筋だとは思いますが、立場上意見は差し控えます。ただし、吉田町とは、生活圈を共にしてきた榛南として「吉田町と牧之原市」の枠組みを願っています。

## 中野康子 議員

牧之原地区に消防署分室を

**問**

牧之原地区は、榛原総合病院、吉田榛原消防署からは西の端で、相良御前崎消防署からは北の端に位置する。救急車をお願いした時、榛原総合病院では診てもらえないために、島田あるいは菊川市民病院へ搬送される場合がある。

牧之原台地には公共機関はほとんどなく、夜間には医師がひとりも居なくなってしまう。牧之原地域は、ひと昔前には首都機能移転の候補地の一つになるなど、開発の可能性を秘めた地域であり、さらなる広域合併が推進された時には中心地になり得る場所である。

このようなことを併せ考えた時、新しく整備された消防団詰所に消防署の分室を開設して欲しい。島田、菊川市民病院へは最短距離となり、榛原総合病院へも西の端から救急車が出動すれば、搬送時間が短縮されるのは牧之原地区だけでなく、かなりのエリアで時間が短縮され、

失われる命が救われることが多くなるのは間違いない。

**答**

牧之原地区は消防署から遠いため、救急体制に心配があることは承知しています。

静岡空港や東名高速道路などへの敏速な対応を図るため、牧之原台地に整備されていない消防・救急拠点の施設について、周辺市町や県と協議しながら、広域的連携をとりながら、早急に検討していきます。



一刻も早い救急出動を

## 小杉康男 議員

浜岡原発と周辺地への対応を質す

**問** 浜岡原発は一号機から五号機まで、いくつかのトラブルを発生させつつも、営業運転がされている。

**答** 加えて五年後にはプルサーマルを導入すること、中部電力として「各戸訪問」「住民説明会」を行っているが、地域住民の不安は大きい。

**問** 「電源立地地域対策交付金」は、防災面から五キロメートルあるいは直近地域（地頭方地区）を重点に対策を講じるべきだと思うが。

**答** 交付金の目的から、特定部門に限定せずに使ってきましたが、地域防災は大変重要であり、検討します。

**問** 緊急避難施設の早期建設と、病院を含めた災害対策システムが急務だが。

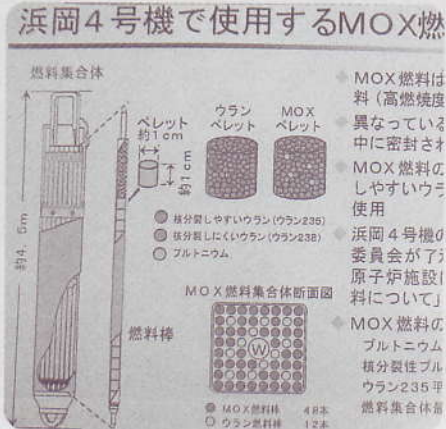
**答** 基本的には国の責任で行うことですが、機会を捉えて国・県に要望していきます。

**問** 立地地域と隣接地域の交付金格差が大きい。

**答** 配分割合は、当時県が立地及び周辺町の意見を聞いて決めたものですが、再検討の要望はしていく必要があると考えます。

**問** プルサーマルに関して「安全協定」の見直しスケジュールと、「住民が安心できるプロセス」を伺いたい。

**答** 安全確保を、国や中部電力が責任を持つこと。導入の是非は、地域住民が安心感を十分持てるのが前提です。



浜岡原子力発電所の啓発資料から

## 大石和央 議員

中電・プルサーマル計画の合意形成は

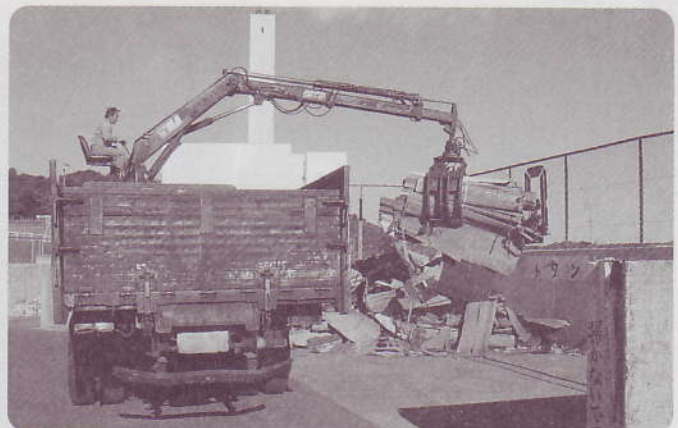
**問** 市長は中電との安全協定について、見直しの検討をすると発言しているが、具体的にどうするのか。

**答** 県及び関係三市との関係もある、来年一月十六日に開催される「浜岡原子力発電所安全等対策協議会」の中で検討していきたいと思えます。

**問** プルサーマルの実施について市長は、住民の不安解消が重要と言うが、住民の合意形成をどのように図るのか。当事者意識を持つべきだ。

**答** この計画は国が推進し、中部電力が実施する事業で、安全については責任をもってあたること。国主催の公開討論会が開催できないか、関係市と協議していき、無理なら四市合同で開催することも相談します。

まず資源化をはかりたい



ゼロ・ウェイストは目標設定を

**問** 市長のごみゼロ（ゼロ・ウェイスト）の見解をお聞きする。いつまでにどのくらい削減させるとい目標設定が大事だ。

**答** 脱焼却・脱埋立てのゼロ・ウェイストは、一朝一夕には達成できません。地道な取組みと資源化への努力をしていきます。